

<特集によせて>

遠隔監視技術に支えられた環境施設の民間委託

Privatization of the Environmental Plant Supported with Remote Monitoring Technology

辻本進一 *

株式会社タクマ 設計本部電気計装部

Shin-ichi Tsujimoto*
Takuma Co., Ltd.

日々進歩する IT 技術は、ともすると取り残されてしまいそうな勢いで進化の速度を速めている。快適さを求めてユビキタス社会の実現を目指している。特に通信回線を通してつながりあうインターネットは、この 10 年ほどで爆発的に普及し、私たちの暮らしになくてはならないものに成長した。そしてインターネットを使ったビジネスモデルが数多く開発されている。

インターネットは利便性の反面、セキュリティーの確保が重要な課題であり、ファイアーウォール、IP 化や VPN の暗号化技術、セキュアプロトコル等の認証技術によるウィルスや不正アクセス対策の技術が欠かせない。

環境施設、特に下水道施設はこれまでから遠隔操作をはじめとする集中監視・制御による効率的な事業展開を行ってきたが、遠隔監視技術によりより高効率な運営管理と、事業の性格から地域住民への情報提供さらには地域情報化への可能性が期待できる。

一方、1999 年 7 月に PFI 推進法が成立し、これまで国や自治体が行ってきた公共施設の建設や維持管理、サービス、運営などを民間主導、つまり民間の資金をはじめ経営力や技術力によって行うことができることとなった。景気の後退による税収減も相まって民間委託へと広がりを見せている。事業を経営感覚で、少ないコストで質の高いサービスを。また激しく変化する時代の要請に機動的に対応する。遠隔監視技術はこれらを実現するために有効に機能する。

今回の特集では、環境施設が PFI に代表される民間委託へ広がっている背景のなかで、これを支える強力なツールである遠隔監視・制御技術の現状と今後の展望を解説頂いた。また環境システムにおける事例を紹介し参考に供したい。

* 〒 660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町 2 丁目 2 番 33 号
TEL: 06-6483-2648 FAX: 06-6483-2767
E-mail: tujimoto@takuma.co.jp